

# 緑風会会報

2025年10月号

2025年10月15日



#### 岡田会

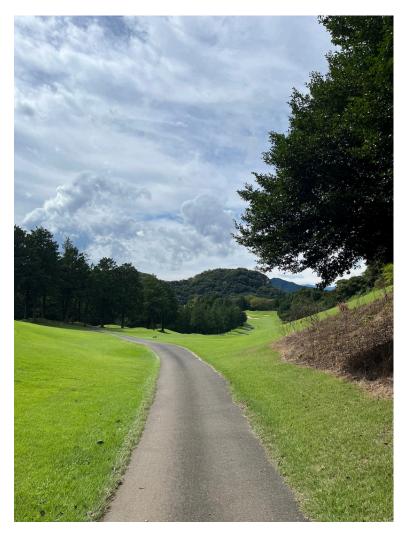


9月20日から2日間にわたり、岡田様の別荘にお邪魔し、合宿を開催していただきました。 初日はG.C.クアッドを用いての練習や芝からのアプローチ練習など、普段は出来ないような環境で練習をさせていただきました。 2日目は富士レイクサイドカントリー倶楽部にて、快晴の中ラウンドをさせていただきました。 私は本年をもって引退させていただくため、これまでの感謝を伝えさせていただきました。今回が合宿初参加となりました、2年長谷川や1年依田両名は岡田様から刺激を受けたくさんのことを学んだようでした。 とにかく学生のうちはドライバーを振る、OBを怖がらない大切さ、スケールの大きいゴルファーになるんだという薫陶を受けました。 岡田様、お忙しい中貴重な機会をいただきありがとうございました。

文責 池澤④



## 新入生育成ラウンド



9 月21日に新入生育成ラウンドが広陵カントリークラブで実施されました。コースは7月末に行われた育成ラウンドと同様であり、そのため夏季休暇期間を通しての成長をより実感できる機会となりました。 1年生はラウンド経験を重ねることで、徐々に余裕を持ち、落ち着いてプレーできるようになってまいりました。 今回のように先輩方とご一緒させていただく機会を大切にし、プレー面はもとより、ラウンド中の立ち居振る舞いなどからも多くを学び、今後の成長につなげてまいりたいと存じます。

文責 棚町①



## 男子秋季C・D入れ替え戦



10<sub>月3日、男子C・Dリーグ入れ替え戦が富士カントリークラブにて行われまし</sub> た。 4年生の曽根・池澤・落合・本田・小俣、ならびに3年生の山下の計6名が出 場し、強豪青山学院大学との対戦に臨みました。 試合結果は、青山学院大学 377 ストロークに対し393ストロークとなり、残念ながら大差をつけられての敗戦と なりました。日頃より温かくご支援くださっておりますOBOGの皆様には、この ような結果となりましたこと、心よりお詫び申し上げますとともに、応援への深 い感謝を申し上げます。 しかしながら、今回の試合は非常に難易度の高い富士カ ントリークラブにおいて、5名の平均スコアが79を下回るという、極めて高いパ フォーマンスを発揮することができました。これは、昨年Cリーグへ昇格を果た した春季リーグ戦2日目と同水準のスコアであり、持てる力を出し尽くした結果で あったと自負しております。また、当日は多くの部員が応援に駆けつけてくれま した。その中には、来年度以降のリーグ戦で中核を担うであろう後輩たちの姿も 多く見受けられ、チームとしての未来に希望を感じる一日でもありました。 今回 の敗戦は非常に悔しいものでしたが、強豪校を相手に一切ひるまず挑んだ4年生の 「勝利への執念」は、後輩たちの胸に刻まれたと思います。 来年度以降も、勝利 を目指してひたむきに努力を重ねてまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻 のほど、何卒よろしくお願いいたします。

文責 山下③



# 高萩合宿



10 月5日、6日の2日間、高萩カントリークラブにて東北大学との合同合宿が開催され、一橋大学からは計10名が参加しました。合宿は1泊2日で行われ、初日は東北大学とのマッチプレー、2日目にはコンペ形式のラウンドが実施されました。東北大の皆様との交流を深めながらも、互いに勝利を目指し熱戦が繰り広げられました。 私自身はゴルフ初心者で不安もありましたが、先輩方や東北大学の皆様から丁寧なご指導をいただき、確かな成長を感じることのできた2日間でした。また、初めて他大学の方々とラウンドを共にし、ゴルフを通じた新たなつながりを得る楽しさも実感しました。 このような貴重な機会を提供してくださった東北大学の皆様、そして日頃よりご支援くださっているOBOGの皆様に、心より感謝申し上げます。

文責 荻野①



## 学連月例

順位	氏名	大学名・登録年	OUT	IN	TOTAL
1T	折笠蒼太	日本ウェルネススポーツ大学①	37	33	70
	鈴木 慶士	日本大学(1)	37	33	70
3T	濱島和生	東京大学(4)	34	37	71
	平井匠	日本ウェルネススポーツ大学①	35	36	71
5	小池健心	青山学院大学②	35	37	72
6T	石澤慧翔	成蹊大学(4)	36	37	73
	松澤 虎大	日本大学(3)	39	34	73
8T	林嘉一	成蹊大学(4)	37	37	74
	目代佑輝	明治大学(4)	36	38	74
10T	鈴木涼仁	中央学院大学①	34	41	75
	塩原琉之介	中央学院大学①	38	37	75
	出利葉 翔太郎	日本大学②	41	34	75
	中川 瑛太	日本大学②	37	38	75
以上、上		回会長杯争奪関東			
14T	光岡涼馬	東京大学③	37	39	76
	山田康生	成蹊大学②	36	40	76
16T	冨田 和貴	早稲田大学(1)	41	36	77
101	川又大毅	法政大学(4)	37	40	77
_	中原 啓翔	上智大学(4)	37	40	77
	山口達也	帝京大学②	40	37	77
	加野 大葵	山梨学院大学①	40	37	77
	小秋元響己		41	36	77
OOT		青山学院大学②			
22T	田中康晴	慶應義塾大学(2)	42	36	78
	河野 龍希	上智大学③	40	38	78
	荒木志龍	東京大学③	41	37	78
	伊藤龍河	日本ウェルネススポーツ大学①	40	38	78
	戸部 結生	山梨学院大学①	37	41	78
27T	山下和将	一橋大学(3)	40	39	79
	大川颯太	青山学院大学②	38	41	79
	金子楽來	日本ウェルネススポーツ大学①	37	42	79
	渡邉康生	獨協大学①	40	39	79
31T	城殿大和	青山学院大学(4)	39	41	80
	大森稜太	東海大学(4)	40	40	80
	菊池雄太	東京大学①	39	41	80
34T	前橋 大峨	早稲田大学②	40	41	81
	金澤 歩夢	早稲田大学①	40	41	81
	白鳥葵	玉川大学②	40	41	81
	鵝木 健成	東京農業大学②	38	43	81
	伊原顕	東海大学②	42	39	81
39T	長谷川拓	慶應義塾大学①	42	40	82
	五十嵐大輝	東洋大学(4)	40	42	82
	井上 耕太朗	日本大学③	38	44	82
42T	生松将吾	慶應義塾大学②	42	41	83
	山下雄大	青山学院大学①	39	44	83
	田口遥也	明治大学④	44	39	83
	佐山稀琉	東洋大学①	42	41	83
46T	國府田大喜	東京大学(1)	42	42	84
	橋本健吾	成蹊大学(2)	41	43	84
	play that the site	7E42+W(0)	40	14	
	中村雄歩 前田 一護	獨協大学③ 帝京大学④	43	41	84 84

51T	田村時利	学習院大学(2)	45	40	85
	大橋 稜	帝京大学②	41	44	85
53T	吉田圭吾	慶應義塾大学①	42	44	86
	舩越涼太	法政大学(3)	42	44	86
	田崎映多	玉川大学③	47	39	86
	宮城晴	玉川大学③	46	40	86
	奥山康成	学習院大学(3)	44	42	86
	瀧野敦史	武蔵大学①	38	48	86
	竹田光汰	東洋大学③	46	40	86
60T	三井 高熙	上智大学(4)	42	45	87
	菊地悠介	青山学院大学(1)	42	45	87
62T	小西 涼雅	早稲田大学(2)	42	46	88
	都丸柊人	東洋大学②	47	41	88
	山田大輝	東海大学③	45	43	88
65T	井澤 優心	上智大学②	47	42	89
	大西惠仁	玉川大学(3)	45	44	89
	高取豪	山梨学院大学①	41	48	89
	古川圭悟	東京経済大学③	45	44	89
	神山貴敏	明星大学(2)	46	43	89
70	小泉 卓也	東京農業大学③	43	48	91
71	篠崎陽太	成蹊大学③	45	49	94
72T	保谷柾貴	玉川大学(4)	48	47	95
	高田大誠	学習院大学(2)	49	46	95
	鏡綱世	帝京大学①	48	47	95
75T	中村 圭吾	早稲田大学①	48	49	97
	滝悠平	獨協大学(1)	48	49	97
	矢澤 光暉	駿河台大学(2)	47	50	97
78T	中野天真	慶應義塾大学(2)	50	48	98
	西川慶	学習院大学(2)	49	49	98
	綿貫 亮汰	東京農業大学(1)	49	49	98
81T	田中雄也	一橋大学②	48	51	99
82	五十嵐 優世	駿河台大学(1)	52	48	100
	竹内初樹	東洋大学(1)	49	51	100
	茂渡大洋	東海大学(3)	46	54	100
85T	菊地天颯	流通経済大学(1)	46	55	101
	濱田 大地	成城大学(3)	47	54	101
87T	渡部将	一橋大学②	52	53	105
	坂本紘規	東海大学②	53	52	105
89	細井康仁	東京経済大学②	56	51	107
90	森川英彦	東京経済大学(1)	57	52	109
	川崎虎琉	獨協大学(4)			棄権
	青島夏生	獨協大学(4)			欠場
	山上悠翔	山梨学院大学(4)	-		欠場

1 月8日に茨城ロイヤルカントリー倶楽部で関東学生ゴルフ連盟10月月例会が開催され、3年の田中、山下、渡部、漆山、李が出場しました。私自身は今回が初めての学連月例でしたが、普段のラウンドとは異なる特有の緊張感の中でプレーをする中で、技術面、体力面、精神面などあらゆる面において実力不足であることを痛感させられました。一方で、他校の優れた選手とプレーする中で多くのことを学ぶことができました。今回得た経験を次に活かすことができるように日々努力を積み重ねたいと思います。

文責 渡部③





4年の曽根魁斗です。 大学入学から今まで、数え切れないほどの素敵な思い出を作り、大きな成長をすることができたのは、紛れもなくゴルフ部のおかげです。主将を任せていただき、リーグ戦、部の運営を行ってきましたが、すべて仲間がいたからこそ成し遂げることができました。仲間と「部員全員が心の拠り所となる部」へと少しずつ進めることができたと思います。時には大変なことがのきましたが、憧れの先輩、優秀な同期、優しい後輩に支えられて頑張ることができました。ただ結果としてDブロックに落ちてしまったことが唯一の心残りです。後輩たちが再びCブロックに返り咲けるよう、今後はOBとして陰ながら応援していきたいと思います。 改めて、永遠の仲間と大好きなゴルフをとことんやり尽くすことができたこと、私の大学生活に大きな意味を持たせてくれたゴルフ部に感謝しています。今後も陰ながら一橋ゴルフ部に恩返ししていきたいと思います。

文責 曽根④







O B·OGの皆様、平素よりお世話になっております。引退に際してご挨拶さ せていただきます、今年度女子主将を務めました4年の井林です。 私はゴルフ 部での活動を通じて「仲間を信じて頼ること」の大切さを学びました。 まず プレーヤーとしては、春のリーグ戦以降同期や後輩が自己ベストを更新する中 で、私は思うようなスコアが出ず「自分のせいで昇格できなかったらどうしよ う」と不安と焦りに駆られていました。しかしそんな私を部員は常に励まして くれ、次第に「仲間を頼りながら、自分もチームのために1打でも縮めたい」 という前向きな気持ちで挑むようになりました。引退試合当日もその一心でプ レーに励み、結果として4人全員がベストを尽くし昇格を果たすことができま した。 また、組織のリーダーとしても多くの学びがありました。私は主将に なった直後に留学をし、帰国後すぐに就職活動が始まりました。部活に全てを コミットしきれない中で、引き継ぎ、目標設定、練習計画、新歓活動など多く の課題がありましたが、次期主将の李をはじめ多くの後輩部員が率先して動い てくれ、大きな支えとなってくれました。プレーヤーとしても組織の一員とし ても、私を助けてくれた仲間に心からありがとうと伝えたいです。もちろんリ ーグ戦だけでなく、普段の練習、四大戦・八大戦、合宿など全てがかけがえの ない青春の時間となりました。私がゴルフを全力で楽しめる環境を与えてくれ た、家族、部員、そしてOB・OGの皆様に、改めて心より感謝申し上げます。 ありがとうございました。女子部は来年度からDブロックでの挑戦が始まり ます。これからの更なる成長を心から応援しています。今後ともゴルフ部に温 かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

文責 井林④





→ 素より、一橋大学ゴルフ部を応援していただき誠にありがとうございます。 4年副将の池澤秀明です。代替わりに際して、引退の挨拶をさせていただきます。本年も温かい温かいご支援、ご指導を賜り誠にありがとうございました。振り返ればあっという間の4年間でした。素晴らしい先輩と同期、後輩に恵まれ、何一つ後悔のないゴルフ部生活を送らせていただきました。唯一あるとすれば、今年Dブロックに降格し、Cブロックに返り咲くことができなかったことかもしれません。ただ、たくさんの仲間と、そして緑風会の皆様に支えられて今日まで来れたと思います。歴史と伝統ある一橋ゴルフ部が今後大きく発展していきますよう、今後はOBという形で部活に恩返ししていきたいと存じます。末筆ながら、これまでのご支援に改めて御礼申し上げ、後輩への変わらぬご厚情をお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

文責 池澤④





OB・OGの皆様、平素よりお世話になっております。引退に際してご挨拶させ ていただきます、今年度副将を務めさせていただいた4年の小俣智士です。 大 学生活を振り返ると多くの経験をゴルフ部でさせていただきました。特に中高 の6年近くを海外で過ごしていた私にとって、体育会部活の中で過ごすのはど こか憧れていた日本の青春を過ごしているようで貴重な経験をさせていただき ました。ゴルフという競技を通して、また部員やOBOGの皆様、大学外のゴ ルフ部の方とのつながりの中でもこれから社会に出ていく人間として成長を遂 げられたのではないかなと思います。総勢60名近い組織を運営し、代々先輩 の皆様から受け取ったものを次に渡していくことの難しさも強く実感しまし た。 競技ゴルファーとしては、リーグ戦には計3回出場をさせていただきまし たが、年々上がっていく男子部のレベルの中で自身も引っ張られながらここま でやってこれたのかなと思っております。レギュラー強化合宿をはじめとした 多くの機会をOB・OGの皆様にいただいて成長をすることができたこと、心か ら感謝いたします。これからも多くの優秀な後輩たちが一橋ゴルフ部をより 盛り上げていってくれると確信しております。今後とも一橋大学ゴルフ部をよ ろしくお願いいたします。4年間、大変お世話になりました。

文責 小俣④



### 緑風会コンペ開催のご案内

来たる12月6日(土)、山梨県メイプルポイントゴルフクラブにて、緑風会コンペを開催いたします。

別途、緑風会メール(hit.golfteam.72@gmail.com)にてご連絡しておりますので、詳細はそちらからご確認ください。

皆様のご要望の踏まえ、出来るだけ年次の近い方々で同組プレーをしていただけるよう努めますので、前後年次の近い方々をお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

文責 長谷川②



↑昨年開催時の写真



### 編集後記

清々しい秋空が広がる季節となりました。皆さまにおかれましては、いかがお 過ごしでしょうか。リーグ戦の区切りを迎え、部員たちはゴルフと同様に勉学に も勤しんでおります。

10月初旬に開催されました男子リーグ入れ替え戦をもちまして、長らく部を 牽引してくださった4年生の先輩方が引退され、わたしたち現役部員による新体 制へと移行しました。世代交代は、新たな可能性と課題を伴うものと存じます。 この変化を一橋大学ゴルフ部が更なる発展を遂げるための好機と捉え、部員一 同、これまで以上に精進していく所存です。

最後になりましたが、私たちがこのように活動を重ねられているのは、ひとえにOB・OGの皆さまの温かいご支援があってこそです。心より感謝申し上げます。

今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。向寒の折、くれ ぐれもご自愛ください。

広報担当: 3 年角谷海空·関川夏帆子·田中雄也

2 年松本明香凜·山田夏歌·山田成彰

1年山浦輝貴・増田葉夏・高野絵里